

ははきぎほうせい 帝木蓬生さん講演会 「元寇」について

小郡市生まれの作家、帝木蓬生さんをお迎えして講演会を開催します。
『水神』、『天に星 地に花』に続き、平成29年に刊行の『守教』で“久留米藩三部作”を完結した帝木さんの最新作は、『襲来』上・下巻(講談社)。講演会では、『襲来』のテーマとなった元寇を中心に、作品についてお話しいただきます。

- 日時 **5月12日**(日)
午後2時～4時(開場1時)
 - 会場 文化会館大ホール
 - 定員 600人
 - 入場 無料(整理券が必要です)
 - 整理券配布
4月5日(金)から、図書館、各校
区のコミュニティセンターで配布
します
- ※1人3枚まで
- 手話通訳・要約筆記あり



本の販売あり。講演会終了後、サイン会を開催します。

図書館内の野田宇太郎文学資料館で、『天に星 地に花』の生原稿や、題材となった高松凌雲の資料を展示します。



帝木蓬生(ははきぎほうせい)

作家、精神科医。1947年、福岡県小郡市生まれ。71歳。東大仏文科卒業後、TBSに勤務。退職後、九州大学医学部に学び、精神科の勤務医に。'93年『三たびの海峡』(新潮社)で第14回吉川英治文学新人賞、'95年『閉鎖病棟』(新潮社)で第8回山本周五郎賞、'97年『逃亡』(新潮社)で第10回柴田錬三郎賞、2010年『水神』(新潮社)で新田次郎文学賞、2018年『守教』(新潮社)で第52回吉川英治文学賞など、受賞作多数。
(参考：『襲来』著者紹介)

「子どもと絵本」講座(全3回)

絵本は、子どもが成長するうえで大切な栄養源となります。子どもと一緒に絵本を読むことで、きっと幸せな時間を過ごすことができるでしょう。絵本やわらべうたの魅力をご紹介します楽しい講座です。

- 時間 午前10時～正午
- 会場 文化会館和室
- 定員 20人(要申込)
- 託児 無料(要申込、年齢制限・定員あり)
- 申込方法 図書館カウンターまたは電話

①「絵本が育てる子どものころ」

- 期日 5月19日(日)
- 講師 白根恵子さん(元佐賀女子短期大学教授)

②「絵本を使った子育て孫育て」

- 期日 5月26日(日)
- 講師 川島久美子さん
(元大野城まどかぴあ図書館長)

③「赤ちゃんが笑顔になる魔法のうたーわらべうたであそびましょうー」

- 期日 6月9日(日)
- 講師 児玉敦子さん(わらべうた講師)